

## 令和5年度都立八王子北高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	基礎的・基本的な「書くこと」「話すこと」に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数授業によるきめ細やかな指導の実施</li> <li>・学習支援コンテンツ等の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や語句に関する小テストの実施</li> <li>・漢字検定の受検</li> </ul>
地歴公民	「課題解決型学習」の指導の充実 ・「公民としての資質・能力育成」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認</li> <li>・定期考査で「課題解決型」問題を出題する。</li> <li>・グローバル化社会、民主国家の形成者として「話し合うこと」の指導に関する科内研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査における「課題解決型問題」について分析</li> <li>・「世界遺産検定」の実施</li> <li>・オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発</li> </ul>
数学	数学の基礎・基本の定着をはかる指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別授業により、個々の生徒の現状に合わせた「伸ばす指導方法」の実践</li> <li>・学習支援コンテンツを活用した学習習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題演習の結果を振り返ることで、今後の課題を見定め、改善しようとする態度を育成</li> </ul>
理科	自然の事物・現象に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の特質を踏まえて、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行う。</li> <li>・考察・推論したことや結論についてレポートや小テストにて確認する。</li> <li>・大学入学共通テストの問題分析を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や研究機関、博物館などを活用して発展的学習に生かすようにする。</li> <li>・授業の相互参観を実施して、深い学びに生かす。</li> </ul>
英語	「話すこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認</li> <li>・各科目、学期に2回パフォーマンステストを実施</li> <li>・英検3級、準2級、2級合格のために、夏期講習を実施</li> <li>・英検二次対策を一次試験合格者全員に個別で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TGG参加に向けて事前指導、事後指導の実施</li> <li>・放課後、休休み等を利用したJETとの個別英会話の実施</li> </ul>
体育	健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツとして継続的に実施がしやすい種目を中心に取り入れる。</li> <li>・主体的に活動する場面を一学年から取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者を理解し、互いに豊かなスポーツライフとなるように計画的な活動を主体的に取り組む場を設定する。</li> </ul>
保健	健康についての自他の課題を発見し、他者に伝える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに応じて、自分の考えや行動を他者に伝える発表の場を多く設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の違いを理解し、それぞれの課題について思考し、社会的課題も踏まえたうえでその考えを表現する場を設定する。</li> </ul>
書道	「表現力」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、補助教材に加えて、スライドショーによる補足資料での解説。</li> <li>・教科書QRコードや映像資料による視覚使用にでの分かりやすい運筆の説明。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作作品をパネルにて展示することで、鑑賞力を養う。</li> <li>・作品収納ファイルを作ることで、自作を見直し、より深い作品制作につなげる。</li> <li>・半紙以外にもさまざまな大きさの紙に作品を書く。</li> </ul>
音楽	生涯学習につながる指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、独学でも楽しめるための音楽の基礎的な知識と技術を身に付けるための教材開発</li> <li>様々な音楽にふれる10分鑑賞の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な楽器と親しみのある独奏曲やアンサンブル曲の選曲、開発</li> <li>演奏発表会の実施</li> <li>グループワークによる鑑賞の共有</li> <li>様々な音楽に触れる鑑賞教材の研究</li> </ul>
家庭	「生活を創る視点」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科で年間指導計画について共有、指導事項について確認</li> <li>・人やモノ、書籍、文化との対話や課題解決の過程で生活をデザインする活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習、まとめ、発表会の流れで課題研究の授業を実施</li> <li>・フードデザイン、ファッション造形基礎で民間の料理・お菓子・ファッションコンテストへ参加</li> </ul>
情報	「課題解決」につなげる実習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書選定時に情報モラル、課題解決型実習を多く掲載しているものを選定</li> <li>・補助教材を選定し、情報モラル、社会課題の解決を題材とした実習教材を導入</li> <li>・情報Ⅰ各単元で、ソフトウェアを利用した実習による探究的な実習を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報Ⅰ実習で各種検定試験に挑戦し発展的な取り組みを促進</li> <li>・プログラミングやデータ活用などの分野で活躍する専門家を招聘し、情報で学ぶ技術の実社会での活用について学習</li> </ul>